

■ 2003.07.31 ロサンジェルス経由メキシコ ■

成田発 13:55 でロサンジェルスへ。その日の 08:00 に着くというのは面白い。時差が 16 時間もあるからこうなる。日本時間だと夜中の 12 時ころに到着。その後、メキシコへ。今回の旅には一応パソコンを持っては行くが、旅行中に仕事日記を更新できるかどうかは未定である。大韓航空は思いの外よかった。スッチャーがきれいなのはもちろん。サービスがよい。お酒のおかわりも何回もできた。赤ワイン 3 杯、白ワイン 2 杯。ビビンバと焼きコチュジャン（チューブ入り）も美味。朝食はオムレツ。でも 10 時間のフライトはさすがに辛かった。



LA の空港は乗り継ぎに不親切。まあ 9. 11 の事件があるから仕方ないか。

待ち時間もほとんどなく、メキシコへ。デルタ航空の機内サービスで、ビールが 4 ドルというのはびっくり。すかさず無料のジュースにした。機内食はビーフ。まずまず。

メキシコ到着。雨。空港近くのホテル。ボエミア（ビール）はうまかった。でっかい魚のフライを食べた。

■ 2003.08.01 メキシコからペルーへ ■



【メキシコのホテルで NHK】



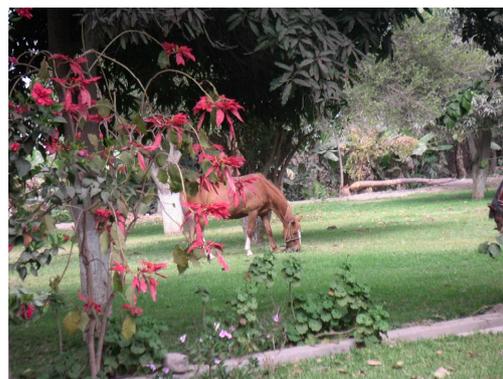
【リマのホテルはバスタブ付】

午後 2 時半まで部屋でのんびり。NHK が映るのは有難かった。空港にインターネット店はあったが、日本語はだめと言われた。アエロメヒコ航空の機内食はパスタ。白ワインとテキーラを 1 杯ずつ。リマに到着。入国審査にやたらに時間がかかるのは、インドのようだ。空港の予約センターでホテルをとってもらい、タクシーで到着。ホテルは 60 ドルと高めだが、満足のいく設備。ピスコサワーのサービスもグッド。持参したカップラーメンをつまみにバーボン。

■ 2003.08.02 リマからナスカへ ■



【アンティークーチョ】



【プール付きガーデンのお馬さん】

飲み過ぎで辛い。ホテルに昨日の旅行会社に来て、近くのオフィスに行く。
 マチュピチュのホテルほか旅行の手配をしてもらうことに。
 全部ひっくるめて1850ドルは安くないが、安全を考えるとこれでよかったかな？
 午後2時。バスでナスカへ。バスステーションに迎えの車がなかなかこないのであせったが、9時近くにホテル到着。アンティークーチョ（牛の心臓の串焼き）を食す。ビール2種類を飲む。まずまず。

■ 2003.08.03 ナスカ地上絵 ■



【4人乗り小型飛行機】



【機体傾けすぎです】

10時に迎えがくるはずが、10時半近く。どうやらペルー時間というのが存在するようだ。
 空港でかなり待たされて、ようやくナスカ地上絵のフライトへ。
 4人乗り小型飛行機はかなり、おっかなかった。地上絵をよく見せてくれるために、右へ左へ旋回して機体を傾けてくれる。サービス上々なのだが、こっちは怖くて怖くて、気が気でなかった。しかし、さすがに実物は迫力があつた。



【お部屋で待機】



【一般的な浴室】

2時前にもどり、夜行バス出発まで部屋で過ごす。
 午後8時半ホテルを出て10時半過ぎデラックス夜行バスに乗る。
 一番前の足下の広い席。まるで移動サロンのよう。バーボンを飲みながら、PDAで音楽を聴く。
 リッチな気分。

■ 2003.08.04 アレキパ ■



【アレキパの町並】



【CRISMAR Hotel】

朝 7 時半アレキパへ到着。ホテルに入る。
部屋から海外ローミングを試みたが、うまくつながらない。まるでインドのようだ。
シャワーを浴びてゆっくりして寝る。午後 3 時頃から散歩。サンタカタリナ修道院を見学。
夜はレストラン。ペルー音楽（フォルクローレ）の生演奏あり。シーフードと鶏肉のチャーハン。
ビールがおいしい。

寝るまえにやっとネットがつながった。結局設定に間違いはなく、回線の問題と判明。
これもまた、インドのようだ。メールをして、インターネットでニュースを見る。
電話料はしめて S/ 12（約 430 円）。市内通話だけなのに、高い

■ 2003.08.05 プーノ ■



08:15 HOTEL CRISMAR 発 プーノへ。

トランスファーのタクシーで日本人（在日韓国人）と一緒に
なる。ソンさんはアメリカの和食レストランで 10 ヶ月働
いていたそう。

道中の景色はいいが、高山（3855m）のせいで息が苦しい。
彼女にコカの葉をもらって、少し和らいだかな？ 14:30 プ
ーノ着。

部屋でパソコンを起動しようとしたが、ガリガリと異音が
する。ハードディスクがいかれた模様。

ショック！ 19:00 レストラン。ビールを飲んでトルチャ
（マス）を食べたが、量が多すぎた。

夜は早めに寝たが、息苦しくて目覚める。しばらく起きて
いたらようやくおさまった。

■ 2003.08.06 チチカカ湖 ■



【ウロス島】



【トトラに座り仕事する女性】



【タキーレ島広場の民族踊り】



【手織りの装飾品作り】

早朝ホテルを出て、湖畔へ。船でウロス島に向かう。約 40 分。トトラ（葦）で作った浮島は見事。
家も畑も船でさえもこれで作ってしまうというから驚きだ。女性の漕ぐトトラの船にも乗せてもらった。
島民が観光客相手の見せ物のようで悲しい。

その後 2 時間半かけてタキーレ島へ。長い坂を登らねばならず、へとへと。高地なので、すぐ息が切
れるのだ。もう、心臓ばくばく。

ようやく着いた広場では、島民が踊りをやっていた。（単調な動きで、すぐあきちゃった…）

それにしても、ここらへんの女性はみな背が低くて頑丈で、だるまのような体型だった。ランチは魚のフライ。米とフライドポテトは残してしまった。食欲ナイ。パソコンが壊れたので、インターネットカフェに行ったが、日本語表示はだめ。日本語のダウンロードも受け付けないように設定しているらしい。夕食は、ホテルのレストランでチキンとビール。(こればっかし)

■ 72003.08.07 クスコ ■

よく寝た。旅の疲れがピークのような。朝食も飲み物だけにして、部屋でお休み。

14:15 ホテル発 15:00 バス発車の予定が 1 時間遅れ。クスコ到着は 2 時間半遅れ。おかげで、夕食にありつけず。

クスコは標高 3,399m の天空都市。廊下に酸素ボンベがあった。高山病が怖かったけど、ビールを飲んで、ウイスキーをかつ込んで寝る。



【クスコの Hotel】



【マチュピチュ行き列車】

■ 2003.08.08 マチュピチュ ■

06:15 発の列車「ペルーレイル」でマチュピチュへ。いよいよペルー旅行のハイライトだ。

執着は、アグア・カリエンテ (マチュピチュ村)。駅周辺は観光客向けのおしゃれなレストランやお土産屋がわんさか。

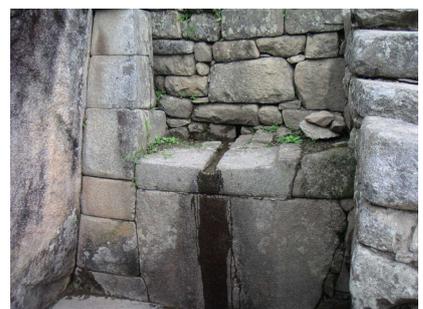
ここからバスでマチュピチュへ向かった。遺跡のバス停すぐ前、今宵の宿「サンクチュアリ・ロッジ」に着いたのは正午近い時間だった。



【念願叶いました】



【インティワタナ(日時計)】



【水くみ場】



【見張小屋からの眺望】



【遺跡の中のリャマ】



【三つの窓の神殿】

荷物を置き、さっそく遺跡入り口へ。ツアーメンバーと共に見学なので英語ガイドの説明を聞かねばならず閉口。しばらく我慢し、そっと抜け出す。

インティワタナ(日時計)、三つの窓の神殿、コンドルの神殿、水くみ場などなど、見どころは沢山。
リヤマやビスカチャ(アンデスウサギ)数種類の野鳥も。
マチュピチュ遺跡は、期待通りの素晴らしさだった。天候にも恵まれ感無量。



【豪華なベッド】



【ロモ・サルタード】



【バスルーム】

「サンクチュアリ・ロッジ」は、1泊6万円もする高級ホテルなので、設備はよい。何より夕方の人気の少ないマチュピチュを味わえるというのが最高だ。高い金を出した甲斐があるというものである。友人のアドバイスを聞いて大正解だった。

夕食はビールにロモ・サルタード(牛肉ステーキと野菜炊め)。「デザートどうぞ」みたいなことを言われたが、いらないと答えてしまった。(しまった! デザートもホテル代に込みだったんだ…)

さて、うれしいことに、パソコンが復活した。パソコンも高山病だったのだろうか?

早速、写真データなどをSDカードに移した。万が一、もう一度起動しなくなっても、データを失うことだけは避けられた。

■ 2003.08.09 マチュピチュからクスコ ■



【サンクチュアリ・ロッジ】



【folklore生演奏】



【ビスカチャ】

なんと、8時半まで寝てしまった。チェックアウトは9時。あわてて仕度をする。

あいにく外は雨。天気がよければ、朝のマチュピチュそしてワイナピチュを満喫といきたいところだったが、それもかなわない。

9時から、出発の午後3時までどこでどうやって過ごすかが問題だ。

仕方ないので、まず朝食をゆっくりゆっくりと1時間かけてとった。あとは1時まで本を読んだり、パソコンで四川省をしたり…。

次に、バイキング形式のランチに1時間半。フルーツを食べたり、お茶を3杯飲んだり。

列車は4時20分定刻に出たが、着いたのはなんと10時半。(怒)

イライラしていたため、降りぎわに2メートル近い大男とこづき合いのケンカになってしまった。(反省)

結局クスコの街は2晩とも寝に帰っただけとなった。パソコンまたも故障。高山病なのか?

■ 2003.08.10 クスコからリマに戻る ■

8時にホテルを出て、9時半飛行機。11時リマに戻る。インカワシ(旅行会社)までタクシー。

パソコンを起動してみたところ、無事正常起動。結局3000m以上の高地でのみ、異常が発生したことに。パソコンにも高山病があるとは知らなかった。

荷物を預かってもらい、リマ市内の観光。高度が低いため、呼吸が楽でかなり歩いた。

結局乗り合いのミニバスに乗ってセントロへ。帰りもかなり歩いてからタクシー。もう足がぼろぼろ。

5時頃インカワシに戻ったが、出発までまだ4時間もある。近所をうろうろ歩いたあと、中華レストランでチャーハン。醤油味に涙がでそうだった。

その後レストランで、ビール、ジントニック、ウオッカを3時間かけて飲んだ。
24時。ペルーにさよなら。



■ 2003.08.11 メリダへ ■

6時頃にメキシコシティ着。空港でメリダ行きの航空券を購入。往復330ドル。
9時搭乗11時着。メリダの空港でホテルをとってもらいタクシー11ドルで市内へ。
急に熱帯に来て、体がおかしくなるような気がした。ホテルARAGON。
1泊25ドルの宿はあまりきれいではなかったが、部屋が広くエアコン付きで快適。
シャワーを浴び、ゆっくり休憩。近くのレストランでチキンとビール。

■ 2003.08.12 チチェン・イツアー遺跡 ■



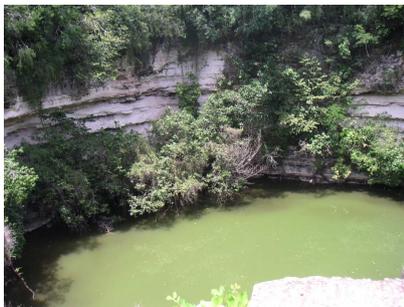
【エル・カステイヨ】



【戦士の神殿】



【カラコル（天文台）】



【セノーテ（聖なる泉）】



【千柱の間】



【遊戯場】

バスで3時間かけ、チチェン・イツアーへ。マヤ文明最大の遺跡がここ。
広大なエリアに、ピラミッドなど無数の遺跡が点在する。
暑い中歩き回って、体力のほとんどを使い尽くした感じ。
そろそろレストランの食事にも飽きたので、食料を買い込んで部屋で食事することに。
まず、ビールを求めて1時間も歩き回り、諦めようとした時にやっと見つけて購入。
メキシコの日清カップヌードルと屋台のホットドッグで乾杯！！

■ 2003.08.13 ウシュマル遺跡は断念 ■

80ドルもする高級ホテル(?)に移る。すんごく快適。
暑い中、マヤ文明のもう一つの重要遺跡ウシュマルに行こうとバス停までいったが、出発は1時間半後と聞いて、行く気を失う。
実は、チチェン・イツアーのあと筋肉痛で歩くのも辛くなっていたのである。
ホテルに戻り、ロスの大韓航空のリコンファームをフロントに依頼したがつながらない。
結局番号がフリーダイヤルだったのが原因のようだ。

そういえば、国際電話ではフリーダイヤルにはつながらないと聞いたことがあるような…??
結局、インターネットでロスの事務所の番号を調べ、直接かけて事なきを得た。
その後、ビールを飲んで遅い昼寝。夕食はカフェバーで、タコス（安くて美味しい!）とビール。
部屋に帰って飲んだバカルディ（ラム酒）3、4ドルはおいしかったが、飲み過ぎ。

■ 2003.08.14 メキシコシティ ■

ホテルで朝食。朝食付きだと思って食べたら、別料金だった。だったら食べないのに…。とほぼ。
タクシーで空港。11:25 メリダ発。13:15 メキシコシティ着。
地下鉄で、ソカロ地区へ。ホテルの場所がわからず、うろうろしまくり。
2時間以上も迷って、土地の人に場所を聞きまくり、やっと目的のホテル CATEDRAL 到着。

1泊 34ドルと安い設備はよい。何より、インターネットで日本語の読み書きができるのはありがたかった。

夕食はホテルのレストランで、日本でもおなじみのコロナビール2本とスパゲッティ。
洋食だが、食べ慣れた味に安心。

■ 2003.08.15 テオティワカン遺跡 ■

地下鉄を乗り継いで、北バスターミナルへ。メキシコの地下鉄はどこまで乗っても2ペソ（24円）。
乗り換えがやたらに不便だが、超安いので我慢しよう。

巨大バスターミナルのため、どれがテオティワカン行きチケット売り場か、さっぱりわからず。
窓口聞きまくり作戦のすえ、何とかチケットをゲット。



【太陽のピラミッド遠景】



【月のピラミッド】



【帽子は必需品】



【太陽のピラミッド】



【ケツァルコアトル神殿】



【神殿の基壇レリーフ】

メキシコ最大の遺跡がここ。当時のヨーロッパ最大の都市コンスタンチノーブルの人工が2万人だったのに対し、テオティワカンは20万人はいたというのだから凄い。

当然遺跡はだだっ広く、歩くのにかなりの時間と体力を要した。太陽のピラミッドの頂上からの眺めは最高だった。残念なのは、月のピラミッドが登頂禁止になっていたこと。

遅い昼食は、ソナロッサ地区（繁華街）の日本食レストラン「東京」。俺もついに海外旅行中に日本食レストランに行くようになってしまったか……。

本日の定食4種類のうち、トンカツを頼む。味はそれほどでもなかったが、久々の日本食に感激。特にみそ汁がよかった。

夕食を食べる気はなかったが、小腹がすいたので、カップラーメンを食べた。

調子が出てきたので、ホテルのバーにて、ソーセージとサラミをつまみにビールとテキーラ。

■ 2003.08.16 メキシコ国立人類学博物館 ■

ゆっくり起きて、メトロ（地下鉄）で国立人類学博物館。ここは見所が多かった。

このあたりは、静かでのどかで、人が比較的少ないのがいい。とても落ち着いた。

マヤ文明はすごい一言に尽きる！

エジプトよりも高度だったのではないかと、遺跡の品々を見て思った。

ホテルに戻り、空港前のホテルに移動。明日の飛行機の出発が早いのでここにした。

NHK が映るはずが、だめ。あれれ？ 夕食はチキングリルにワインとビール。



■ 2003.08.17 ロス経由大韓航空で帰路につく ■

目覚ましを4時半にセットしたが、4時に目覚める。歩いて空港へ。

7:25 メキシコシティ発。機内食はオムレツにハム。

例によってデルタ航空はアルコール有料なのでオレンジジュース。09:09 ロサンジェルス着

11:55 ロス発。大韓航空はいいなあ。ワイン3杯。ビビンバ。うまい、うまい。



■ 2003.08.18 無事帰宅 ■

大韓航空の昼食はお魚。あまり食欲がない。

午後3時成田着。京成スカイライナーで上野。秋田新幹線こまちで秋田へ。

午後11時自宅着。体重が、出発前より2キロ減っていた…。